令和３年７月１日

東京都内　各高等学校・中等教育学校各位

総合学習・国際教育・国際交流・ESD等担当者各位

東京都国際教育研究協議会

会長　萩谷　磨　（公印省略）

（東京都立永山高等学校長）

**国際理解及び国際協力に関する研究発表会について**

**（発表団体の募集）**

初夏の候、新型コロナウイルスの感染もなかなか収まらず、制限のある学校生活を送られていることと思います。今年度は、感染症対策を徹底し、以下のとおり研究発表会を会場にて開催する予定です。開催時の情勢によっては、変更の可能性もございますが、ご了承ください。

記

１　目的

高校生や中学生による、国際理解・国際協力・国際ボランティア等の活動報告または研究発表の場を設定します。各校・各団体での活動を振り返り、研究や実践の成果を発表し、多くの人々にすばらしい活動を知ってもらい、国際理解・国際協力・国際ボランティアなどの分野で活躍する生徒の皆さんの連携・発展・活性化を目指していきます。

２　日時　　令和３年１１月６日（土）　午後２時から５時の予定

当日の内容　①各校の発表

②講評・審査発表

③活動等の交流会

３　会場　　東京都立科学技術高等学校

　〒136-0072 東京都江東区大島1丁目２－３１

東京メトロ半蔵門線、または都営新宿線「住吉」駅から徒歩８分

都営新宿線「西大島」駅から徒歩８分

JR総武線「錦糸町」駅南口、または「亀戸」駅から徒歩２０分

４　発表内容及び発表時間

高校生・中学生による国際理解・国際協力・国際ボランティア等に関する内容で、活動報告または研究発表とします。

視聴覚機器等を使用して８分以内で発表した後、発表内容に関する質疑応答を２分程度行います。発表生徒は各団体とも、高校生を主体とする1～８名程度とします。高校生個人の研究発表でも、学校を基盤とするものは可とします。

なお、各校でデーターの入ったパソコンをご用意いただき、会場校施設のプロジェクターに接続する形をとりたいと思います。各校でパソコンおよび接続ケーブルをご用意ください。

５　審査内容

　　「全国国際教育研究大会の審査基準」に基づき、審査を行います。

審査基準と配点

＜発表内容７０点＞

〇国際教育の目的やテーマにあった内容構成か　〇持続可能性　〇計画性

〇生徒自身の主体性または独創性　〇成果は理論的・客観的に検討されているか

〇国際的な視野を広げるために役立つもので、その地域・その学校ならではの活動か

＜発表３０点＞

〇発表にかかわる準備と機器等の活用が適切か

〇発表のしかた（声の大きさと話し方）や態度が適切で工夫されていたか

〇質疑に対して適切な応答ができたか

なお、審査結果にかかわらず、２０２２年８月にJICA地球ひろば（新宿区市谷本村町）にて開催予定の第５９回全国国際教育研究大会の公募に応募することができます。

６　審査委員（予定）

　　東京都教育委員会、JICA東京、拓殖大学国際学部、国際開発ジャーナル他

７　発表申込の締め切り及び問い合わせ・申し込み先

　令和３年１０月２２日(金)までに、①団体名または学校名、②発表のテーマ、③代表者または引率者の氏名、④E-mailアドレス及び連絡先を、下記事務局までご連絡ください。

東京都立科学技術高等学校：坂本美香　　申込用E-mailアドレス：sgh@jafie.jp

（学校電話：03-5609-0227）

８　発表の要旨の提出

　　１０月２９日（金）までに上記７のアドレスへ、以下の内容を「Ａ４版１枚」にまとめ、提出してください。（＊事前に審査員に原稿を読んでいただくので、締め切りを守ってください。）

1. 学校名または団体名
2. 研究に参加した生徒の学年と氏名
3. 研究のテーマまたはタイトル
4. 研究の内容
   * 1. 研究発表を通して伝えたいこと
     2. 動機や課題発見、目標やねらい
     3. 具体的な取り組み内容及び工夫・配慮した点（実施日・期間、主な実施場所、取り組みへの参加者及び人数などもわかるように記載してください）
     4. 生徒自身の成果、外部からの評価
     5. 今後の展開・展望・実践計画

９　その他

発表した内容は、発表会の質疑応答やその後の補完研究を含めて、A４判２ページまたは４ページにまとめていただき、本研究会研究紀要「国際教育」に寄稿していただきます。１２月中に原稿の提出いただく予定です。詳細は発表会当日お知らせいたします。